



日本の“宝島”あまくさ

# ほんど

まちづくり協議会だより



天草市が誕生して早いもので2年が経ちました。天草市の各地域では、それぞれの特色を活かした地域づくり活動が始まっており、本渡まちづくり協議会でも、それぞれの地域で独自のコミュニティ施策に取り組むことで、自立に向けた活動が展開されています。皆さんとともに創っていくのが「まちづくり」本渡地区のまちづくり情報をお届けします

平成20年7月1日発行  
創刊号

## CONTENTS

- 1P 会長あいさつ
- 2P まちづくり協議会とは  
まちづくり発表会
- 3P 早期完成を求めて  
～島民集会
- 4P 本渡シティツーリズム
- 5P おらが主役のまちづくり探訪  
～宮地岳地区振興会
- 6P～7P  
本渡の振興会は『元気』ばい!
- 8P お知らせ

### 持続可能なまちづくりをめざして

本渡まちづくり協議会  
会長 中川竹治



本渡まちづくり協議会だよりの創刊にあたりご挨拶申し上げます。  
日頃より、皆様には地域づくりに色々とご協力を戴いておりますことにお礼申し上げます。私たちが暮らす天草も、人口の減少、少子高齢化、産業の停滞など厳しい社会情勢のなかにあつて、なかなか明るい展望が見えてきません。このようななかで、何とかしてこの「天草」を持続可能なすばらしい島としてあり続けるために、私たちは地域の特性を活かし、自立した地域を目指して活動していかねければなりません。そしてこの地域を、子どもや孫たちに引き継いでいく責任があります。  
5月17日には天草発展の基盤となる、「熊本天草幹線道路・第二天草瀬戸大橋」の早期実現を目指し、島民集会を開催いたしました。おかげさまで3千人もの皆様にお集まりいただき、実りある集会となりました。本当に有難うございました。これからも、それぞれの地域が、「任んでよかった」、「訪れてよかった」と言われるような「天草」づくりを目指して頑張っていきたいと考えております。  
皆様の尚一層のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ほんどのほ

平成20年7月1日現在

【本渡南】	男…4,515人 女…5,177人 計 9,692人	世帯数…4,000 高齢化率…25.03%
【本渡北】	男…4,936人 女…5,449人 計 10,385人	世帯数…4,291 高齢化率…20.10%
【亀場】	男…1,972人 女…2,293人 計 4,265人	世帯数…1,668 高齢化率…18.80%
【伊宇土】	男…390人 女…409人 計 799人	世帯数…271 高齢化率…31.91%
【志柿】	男…1,519人 女…1,735人 計 3,254人	世帯数…1,225 高齢化率…22.80%
【下浦】	男…954人 女…1,136人 計 2,090人	世帯数…770 高齢化率…36.07%
【楠浦】	男…1,270人 女…1,431人 計 2,701人	世帯数…978 高齢化率…30.21%
【本町】	男…982人 女…1,073人 計 2,055人	世帯数…875 高齢化率…31.14%
【佐伊津】	男…1,685人 女…1,959人 計 3,644人	世帯数…1,425 高齢化率…29.82%
【宮地岳】	男…331人 女…345人 計 676人	世帯数…274 高齢化率…42.60%
【合計】	男…18,554人 女…21,007人 計 39,561人	世帯数…15,777 高齢化率…25.01%

### 本渡の中心地に誕生!!

～天草宝島国際交流会館「ポルト」～

天草地域の観光・物産情報の発信やまちづくり活動の拠点施設として整備された同館。子ども広場や高齢者サロン、研修室など、目的に応じてどなたでもご利用いただけます。喫茶コーナーもありますので、ちょっとしたのぞいてみてはいかがでしょうか。



【施設外観】 ▶休館日 1月1日と12月31日  
▶開館時間 午前9時～午後10時  
▶問い合わせ先 ☎24-1155

## お知らせ

▼世界平和大使人形展を同館で開催。準備や特産品展などに地区振興会、ボランティア協会の方々にご協力いただきました。



### 「日本の宝島“天草”づくり講演会」

講師 川根振興協議会（広島県安芸高田市高宮町）  
会長 辻駒健二氏  
演題 『誇りと夢の持てる地域づくりを目指して』  
日時 平成20年7月31日（木）  
午後7時開演（開場 午後6時30分）  
場所 天草市民センター（1階ホール）  
主催 天草市

入場無料

どなたでも参加できます。



地域のあり方は無限にあり、そのほとんどはまだ発見されていない。  
川根振興協議会の31年にわたる住民自治組織の活動の歴史の中には、最適な地域経営のヒントがあります。「誇り」と「夢」の持てる地域づくりのため日々奔走し、地域の仲間の皆さんとともに「いい汗」を流される辻駒会長の、生きた「言葉」をお聞きになりませんか。  
問い合わせ先 天草市企画部地域振興課内（コミュニティ推進係）

### 編集・発行 本渡まちづくり協議会

【事務局】  
天草市企画部地域振興課内  
（コミュニティ推進係）  
〒863-8631  
天草市東浜町8-1  
TEL 0969-23-1111  
FAX 0969-24-3501

謝辞  
▼日頃から、自分に甘い私は、「〇〇やけん」と、ついつい不平・不満、さらには愚痴ば言ってしまう。周囲やひとのせいにして、「皆さんはどがんでしようか？」先日、先輩から、「今が一番よか。ここが一番よか。あんたが一番よか。」と言われました。ん、確かに！それから「感謝あれば不満なし」という言葉を大切にしています。▼要するに考え方次第！自分の住んでいる「天草」。ここが一番いい。そして今が一番いい。そこに住む「あなた」が一番いい。まちづくりも同じですよ。そこに住むひとが「よか！」って思うことが大事かなと思います。やっぱ「宝島」ん「あまくさ」が一番よかですね。環境も人柄も！

# まちづくり協議会とは

**天** 草市誕生にあたり、個性と活気溢れる魅力ある地域づくりを地域が主体となつて行い、地方分権にふさわしい自立した地域社会を形成していくために、現在、天草市には旧市町単位の10の「まちづくり協議会」が設置されています。

また、これまでの自治組織などを基礎とし、互いの住民が連携し、住民自治活動を充実させるために、小学校区や行政区などの区域を単位とし

て市内に51の「地区振興会」も設置されています。まちづくり協議会は、地区振興会や公共的団体等の代表者などで構成されていて、行政に対する住民意見の反映や地区振興会の支援、新市の諮問機関として、地域づくりの企画・立案を行うなど住民と行政の協働を基調としたまちづくりを推進する役割を担っています。

**地** 地区振興会は、そこに住む地域住民を対象に、住民

自治の充実強化と自治意識の向上を目的として設置されました。これまでの活動や地域行事等の運営などに加え、地域の課題を解決するなど活力ある地域づくりを展開するなかで、より多くの住民にまちづくり活動に参加していただくため、住民を主体とした組織となつていきます。

※1「協働」同じ目的のために、協力して働くこと。  
※2「基調」思想・行動などの根底にある基本的な考え、傾向

役職	氏名	備考
会長	中川 竹治	経済団体
副会長	富永 勤	伊宇土地区振興会長
監事	有馬 米子	公募
監事	井上 弘之	公募
委員	海江田雅靖	本渡南地区振興会長
委員	中元 利継	本渡北地区振興会長
委員	高村 巧	亀場地区振興会長
委員	右山 拓士	志柿地区振興会長
委員	金子 一幸	下浦地区振興会長
委員	鬼塚 邦照	楠浦地区振興会長
委員	松村 悟	本町地区振興会長
委員	洲崎 豊裕	佐伊津地区振興会長
委員	龍石 昭好	宮地岳地区振興会長
委員	小田原 満	文化関係
委員	松原 正岳	体育関係
委員	西岡 秀康	経済団体
委員	國武 裕子	観光関係
委員	山下 正昭	産業関係
委員	小島ミツエ	高齢者福祉
委員	田口 珠代	子供育成・青年団体

順不同：敬称略

## 『事例発表会』を開催！



2月24日(日)、天草市民センターにおいて「本渡まちづくり発表会」を開催しました。当日は、本渡地域内外から156名が参加。発表会前半は、亀場・宮地岳・志柿地区振興会が、本渡地域のまちづくりモデルとして取り組んだ独自の活動事例について発表されました。後半は、熊本大学政策創造研究センターの畑中 寛氏をコーディネーターに迎え、「市民活動から始まる魅力あるまちづくり」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。パネラーとして参加された亀場・宮地岳・志柿地区振興会長、本渡まちづくり協議会長、安田市長からは、まちづくりに対する思いや夢などが語られ、今後のまちづくりのあり方などについても活発な意見交換が行われました。



## 早期完成を求めて…10のまちづくり協議会と市が主催

～熊本天草幹線道路・第二天草瀬戸大橋の早期実現を求める島民集会～

▲天草市体育館には、早期実現を求め3,000人が集結



▲主催者あいさつ 中川竹治会長  
▲地元要望でアンケートを基に発表された、本渡東中学校生徒会 副会長：榎本ほなみさん(左)、議長：松木健さん



▶多くの来賓の方々にもご出席いただきました

## ありがとうございました

今回の開催にあたりたくさんの皆さんの善意が集まりました。署名・募金にご協力いただきありがとうございました。署名は国や県へ届け、1日でも早く実現するよう要望していきます。募金の使いみちについては、天草市まちづくり協議会連絡会などで検討していきますが、早期実現の看板を設置するなど、有効に利用させていただく予定です。

天草市全体	募金	2,620,369円
	署名	51,447人分
内本渡地区	募金	950,836円
	署名	18,279人分

熊本市と天草市を結ぶ「熊本天草幹線道路」と、天草上島と下島をつなぐ「第二天草瀬戸大橋」の早期実現を求める島民集会が、5月17日、天草市体育館をメイン会場(ほか3会場)に、島民の想いを国や県に届けようと、天草市内10のまちづくり協議会と天草市の主催で開催。三千人の島民に参加いただきました。当日は、地元選出の衆議院議員 園田博之様(自民党政調会長代理)をはじめ、国や県、県議会、市議会などからも多数の方に出席いただき、天草の地域高規格道路の整備は県下でも目立って遅れている状況であること、さらには、天草瀬戸大橋の渋滞は著しく一刻を争う緊急搬送など早急な解決が課題であることを訴えました。今回、全島民が一致団結することにより、今後の地域づくりに繋がる素晴らしい島民集会になりました。ご参加、ご協力いただいた皆さんありがとうございました。



▲熱い思いをこめて…がんばるぞ 三唱！

# 特集 本渡シティイズム事業

本渡まちづくり協議会では、地区振興会の枠を越えた共同事業として、平成19年度から『まちづくりモデル支援事業』の採択を受け、旧本渡町（本渡南地区・本渡北地区）を対象の史跡めぐりから観光まで全てを網羅できるようなマップづくりに取り組んでいます。住民が地域の魅力を再発見し、地域に誇りと愛着を持ってもらうことで、観光振興や産業、地域の活性化を図るのが目的です。

**【写真解説】**  
**タウンウォッチング**  
 実行委員のメンバーと宝島観光協会と一緒に、実際に街中を歩き（フィールドワーク）、地域資源の再確認をしました。

平成19年度の活動としては、実行委員会を設立し、セミナーの開催、ワークショップ、先進地視察、検討会など8回ほど開催しました。  
 旧本渡市には地域資源が豊富にあり、どこまでマップに掲載するか難しい面もありますが、マップづくりの基礎となる情報の収集を無事に終えることができました。また、(社)天草宝島観光協会とも連携し、タウンウォッチングをして地域資源の発見や新たな気付きがあるなど、改めて地域を見直すいい機会となりました。

平成20年度は、最終年度としてマップの完成を目指します。今回作成するマップは、県内でも珍しいA1サイズのミウラ折り(※1)で、タウンウォッチングで得た地域資源を取り入れながら、地域の歴史、文化的資産などの資源を掘り起こし、散策・サイクリング・食歩きなど、ご夫婦で、家族で、恋人と；散策できるようなコースの策定を



タウンウォッチングするメンバー (天草文化交流館前)

検討しています。他にもスイーツ、飲食店、喫茶店などの情報も提供し、地域住民も観光客もそのマップがあれば旧本渡町を堪能できる、そんな手づくりで旧本渡町の特徴を出せるような充実したマップを目指して進めています。

※1 ミウラ折りとは、三浦公亮氏(東京大学名誉教授・文部科学省宇宙科学研究所)が考案した地図の折り方で、対角線部分を持ってきつと左右に引っ張れば一瞬にして広がり、たたむのも瞬く間、という簡単便利なものです。

▼まちづくりモデル支援事業とは？  
 天草市における、「コミユニティ活動の先駆的モデルとなるような地域の形成を図ることを目的として、住民が中心となり、その地域の自然、伝統、文化、人のつながり等の地域資源を有効に活用した独自の地域づくりを行う事業に対し助成する事業です。

▼地域再発見！  
 「天草宝島マップ」  
 市内51地区振興会のうち、30の地区振興会で「天草宝島マップ」が完成しました。残りの地区も本年度作成を予定。天草の宝(地域資源)のマップができる予定です。  
 ※本渡地区は亀場町、杵手町、楠浦町、本町、宮地岳町で1部100円で販売しています。問い合わせは各地区公民館まで。



## 特集 おらが主役のまちづくり

### 土着菌をつかった取組み〜宮地岳〜

今回は、昨年の7月から「土着菌」を活用してまちづくりに取り組んでいる「宮地岳地区振興会」をご紹介します。

#### 研修を終えて…

宮地岳地区では、昨年、柳谷集落(愛称「やねたん」、鹿児島県鹿屋市)の視察研修を行い、「地域は自分たちで守り、自立していかなければいけない。」という思いから、「自分たちもやってみよう」と早速グループを結成して土着菌づくりを始められました。  
 現在4回目の土着菌を醸成中で、毎日交替で攪拌作業をされています。これまでできた土着菌は既に完売されていて、まだ「土着菌」のこのを知らない方が多いなかで、口コ

ミで広がり、申し込みの予約も増えつつあるそうです。

#### 膨らむ夢…

現在、「自分たちで効果を確かめてみよう」と実験中で、「家畜や野菜作りに、今後は米づくりにも使ってみて、秋頃には結果を出して、まとめてみたい」と考えておられるようです。  
 龍石会長は「宮地岳の全域で完全無農薬のおいしい野菜を作って、みんな健康で楽しく暮らせたらいいですね。」と言われれば、江口土着菌センター長は「それから、町外の人と交流するためのゲストハウスを建てて、その横に土着菌で作った市民農園があつて…」。どんだんと「膨らむ夢」を皆さんが笑顔で話される姿が印象的でした。

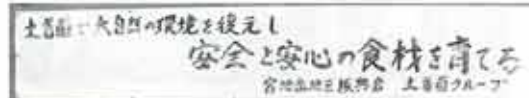
#### 土着菌づくりの足跡

▼19年7月、地区内に土着菌づくり協力者を募集 土着菌グループ(現在は24人)を設立	▼12月 1回目の仕込み (100kg)
▼1月 2回目の仕込み (500kg)	▼5月 4回目の仕込み (700kg)
▼3月 3回目の仕込み (700kg)	

#### 「土着菌の効果例と使用方法」

☆土着菌をそのまま畑等にまく。1㎡当たり1kg。  
 ☆牛・豚・鶏の糞等に20%の土着菌をまぜブルーシートをかけ発酵させ良質な堆肥を作る。それを10㎡に5kgまく。  
 ☆家庭用生ゴミに土着菌をまぜ発酵処理(無臭化)し家庭菜園等の肥料に活用できる。

微生物によりつくり出される、自然界の大循環は、自らを豊かにしていくサイクルを持ち合わせていることは確かであり、この土着菌は、健康な作物を育てるための土作りや家畜を育てることに利用されています。



多量な方が、口コ



攪拌作業するメンバー(土着菌がでるまで空気をいれてあげることが大切)



ここが私達の「土着菌センター」。ここから「夢」が始まります

#### 問い合わせは…

宮地岳地区振興会  
 事務局(宮地岳公民館内)  
 松川さんまで  
 ☎(0969)280001

# ほんどの振興会は「元気」バイ!

ほんどの振興会をご紹介します



下浦町モニュメント

## ～一人一人が輝く、住民自治の地区づくりを!～ 明るく・潤いのある町づくり

下浦地区振興会 会長 金子 一幸  
町の活性化及び住民主体による町づくりを推進するために、今年度より、六部会（自治活動・スポーツ健康・生活福祉・環境安全・青少年支援・町づくり部会）に組織を変更しました。各部会の基本方針と活動内容に従って、各部会長を中心に活動していきますが、そのためには、町民の熱意と協力が必要です。町づくりは人づくり、地区住民の意識の高揚を図りながら取り組んでいきます。

## ずっと住みたい楠浦づくり

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 邦照  
地区振興会の構成団体等は24。団体等の自主活動を支援しつつ、団体等間の連携を強化し、会の活性化を図るため、本年度から5つの部会を創設しました。子供の健やかな成長を支援するとともに、健康づくり、魅力づくり、活力づくりを展開しながら、住民が健康で生き生きと輝き、地域が元気で生き生きと輝く『ずっと住みたい楠浦づくり』を目指します。



楠浦町ふれあいフェスティバル



健康づくりと住民融和の「町民球技大会」

## いやしの里本町をめざして

本町地区振興会 会長 松村 悟  
本町は三方を山に囲まれた純農村地帯です。兼業農家が大多数で若い人達は、町外へ勤めに出ていますので、毎日朝夕通勤される人の疲れを癒すために、道路側面に花を植え「花いっぱい運動」を実施しています。また、健康づくりや住民融和の推進、「明るい健全な地域づくり」のため、いろんな事業を実施して頑張っているところです。

## 新しい「佐伊津町づくり」

～未来の佐伊津町のために～ 佐伊津地区振興会 会長 洲崎 豊裕  
佐伊津町では、地域の活性化及び住民主体の町づくりを推進し、住民自治の充実強化と自治組織の向上を図り、新たな地域コミュニティを創造するとともに自立した住民自治体制による民主的な明るい地域づくりを目的として組織し、従来の自治会活動の主体である区長会、行政機関の公民館と連携協力しながら、新しい町づくりに取り組んでいます。



第11回スポーツフェスタINサイト



亀が瀧おとし(宮地岳)

## 水と緑の里「宮地岳」

宮地岳地区振興会 会長 龍石 昭好  
天草下島のほぼ中央に位置する宮地岳地区は山紫水明の地、農業のまちです。宮地岳地区振興会では、昨年より『土着菌づくり』に取り組む、今までに約2,000kgを完成させました。土着菌で大自然の環境を復元し、土(地力)の回復と安定をはかり、安心と安全の食材づくりにこだわる自然(有機)農法を目指し活動しています。

## 本渡南の将来像を描こう!

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅靖  
本渡南地区振興会は、天草市の中心部に位置し、行政機関をはじめ公共施設の多くがこの地区に集中するとともに、天草市の中でも最大級の人口を有しています。本年度は並列型から部会型に組織を改編しましたが、今後将来ビジョン策定作業をすすめ、みんなで色々な夢を語り合い、地域の将来像を策定する予定です。



第2回 本渡南地区第運動会

## 更なる「住みよい北地区」を目指して



元気いっばいの選手宣誓(第29回北地区大運動会)

本渡北地区振興会 会長 中元 利継  
本渡北地区振興会は区画整理が完了し、新たに4町が誕生するなど人口1万人を越す市内最大の地区振興会です。主な行事として、北地区大運動会、北地区グラウンドゴルフ大会など主にスポーツ行事を通じて北校区民の親睦と融和を図っています。今年度から組織を部会型に移行し、更に「住みよい北地区」を目指して活動しています。

## 住み良いまちづくりを目指して

～日本一の挨拶運動を实践～ 亀場地区振興会 会長 高村 巧  
本町は、天草市の中央に位置し、交通・生活の利便性に優れ、自然や歴史豊かな町です。亀場地区振興会は、5つの部会に加えて、「温かい心の通い合う豊かなまちづくり」を目指し「明るい挨拶日本一」運動推進委員会を設け街頭活動を展開しています。全ての住民の助け合いの中で安らぎと楽しみを感じながら、高齢になっても安心して暮らすことができるまちづくりに取り組んでいます。



「明るい挨拶日本一」運動の様子

## 健康で明るく住みよい豊かなまちづくり



伊宇土青少年事業「わくわく子ども教室」

伊宇土地区振興会 会長 富永 勤  
伊宇土は、谷々より湧出した水が亀川ダムを満たし、生活用水などとして広域に供給しています。湖面には、春は桜、秋は紅葉が映えすばらしい景観です。こうした環境の中で、町民すべてが「健康で明るく住みよい豊かな町づくり」を目標に日々努力しています。今後は、特に子供達の健全育成や町の特産品づくりに力を入れていきます。

## 自立した活気あふれるまちづくり

志柿地区振興会 会長 右山 拓士  
有江前会長を中心に様々な改革がなされ、瀬戸・志柿で別々に実施されていた敬老会、運動会も合同で実施されるようになりました。今後は、高齢化が進み各区の運営が厳しさを増していくことと思います。地域の皆様のご意見とご協力を頂きながら更なる合同化を図り、活気あふれるまちづくりに全力を尽くしてまいりたいと考えております。



瀬戸・志柿合同で開催した志柿敬老会